

令和5年度（2023年度）長野県中学校新人体育大会

北信地区大会ソフトボール競技 大会要項

ソフトボール競技は、東信地区の1チームを含め、「東北信大会」として開催する。

参加料の徴収について

本大会においては、長野県中体連の取り決めにより、全競技において参加料として登録選手1人200円の徴収を行います。ご理解とご協力をお願いいたします。

- I. 主催 北信地区中学校体育連盟
 II. 共催 北信地区各市町村教育委員会
 III. 主管 北信地区中学校体育連盟 ソフトボール専門部
 IV. 会期 令和5年9月23日(土)24日(日)

予備日：9月30日(土)10月1日(日)

1日目：監督会議のみ・開会式なし → 9:00第1試合開始

2日目：監督会議 → 9:00第1試合開始 → 閉会式なし

*雨天時は、1日ずつ順延になる場合もある。

*予備日が雨天順延の場合は、協議の上、会場・日時を決定し試合を実施する。

雨天時について

- ①小雨決行。時間を遅らせても大会は行う意向とする。会場集合の上、待機し、試合を行うこともある。(その際に時間制を検討することもあり得る)
 ②中止の場合：前日20時 又は 当日朝5時に判断し、各校へ連絡する
 <連絡方法>専門委員長・役員→参加各校・関係機関へ連絡
 ③予備日が両日とも雨天等で実施不可の場合は北信中体連本部と専門部が協議の上、日時を決定し実施する。

V. 会場・役員

会場	長野市 若穂中央公園運動場 <予備日 同会場>		
期 日	9月23日(土)	9月24日(日)	予備日
本部長	片山 ますみ(若穂中長)	久保田 聡(中条中長)	左記担当がスライドして行う
救護員	競技部対応	高原義勝(柔道整復師会)	競技部対応
競技委員長	黒田 芳人(篠ノ井西)		
競技委員	水本 弾(高社)・中曽根 佑哉(裾花)・小松 亮太(川中島) 阿部 聖紀(川中島)・児玉 太平(篠ノ井東)・赤羽 健郎(篠ノ井西) 櫻井 文晃(小諸東)		
コート主任	Aコート：黒田 芳人(篠ノ井西)・Bコート：櫻井 文晃(小諸東)		
審判長・審判員	長野県ソフトボール協会 北信支部 審判長 及 審判員		
記録長・記録員	長野県ソフトボール協会 北信支部 記録長 及 記録員		
記録報告	黒田 芳人(篠ノ井西)		
生徒役員	参加校ソフトボール部員		

*2日目救護員の紹介

高原 義勝先生 (公社)長野県柔道整復師会 北信支部会員
 高原鍼灸整骨院(長野市里島)

Ⅵ. 日程・組み合わせ

1 日程

開 場	6:30	
監督会議	7:45 (2日間とも行う)	
	<1日目>	<2日目>
競技開始 第1試合	9:00 /	9:00
第2試合	11:00 /	11:00
第3試合	13:00 /	13:00
競技終了予定	14:30 /	14:30

- *1 試合は1会場内の2コートで進行する。(Aコート・Bコート)
- *2 A・Bコートとも同時進行。
- *3 オダー表は、試合開始30分前、又は、前の試合の4回終了時までに出す。(試合展開では3回コールドがあり得るため、注意する。)
- *4 **第2試合以降の試合開始時間は前倒しで進めるが、連続で試合を行うチームがあるので、試合間隔を考慮する。**前の試合終了後、30分後に次の試合のコイントスができるように進めたい。その後、フィールドイング、試合開始とする。また、先攻後攻の選択については、監督会議で確認する。
- *5 1日目、各出場校は、来場後、速やかに本部に到着連絡をする。その際に参加料を持参し、所定の手続きを行う。
・参加料は1人200円。詳細は後述あり。
- *6 2日間とも第1試合のチームは会場に到着しだい、ベンチ入りをしてよい。
- *7 1日目の試合は、7インングまたは80分とし、タイブレークは行わない。
2日目は、時間制なし、7インングの試合とする。ただし、天候やグラウンド状況等により、協議の上80分の時間制を採用することもある。

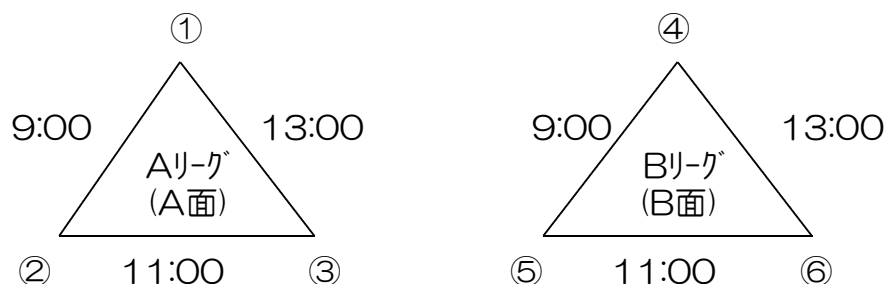
2 組み合わせ 出場校が6校のため、次のように進める。

1日目：予選リーグ3校ずつの三角形リーグ戦(80分時間制)

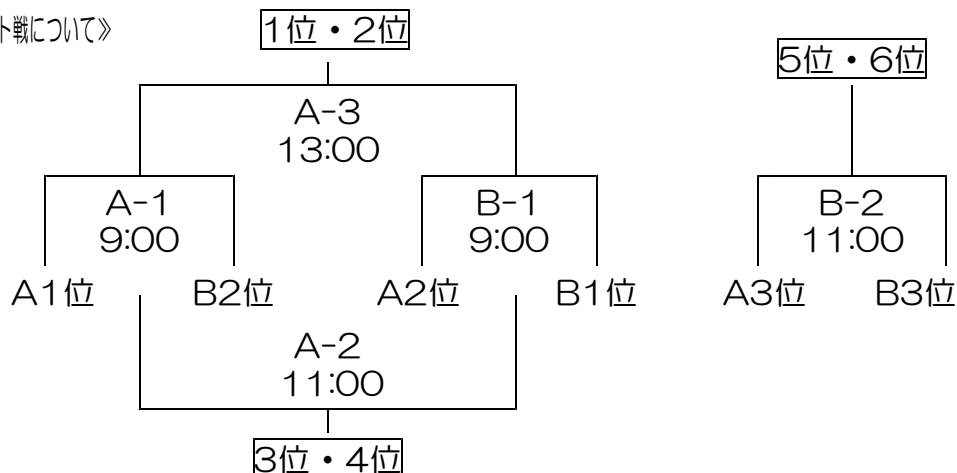
2日目：順位決定トーナメント戦

*組み合わせについては後日決定する。

《1日目リーグ戦について》



《2日目トーナメント戦について》



【順位決定について】

1日目のリーグ戦の順位決定については、次のようにする。

- ① 勝ち点制を採用。勝ち点の多いチームが上位となる
(勝利：勝ち点2・引き分け：勝ち点1 敗退：勝ち点0)
- ② 勝ち点が同じ場合は当該チーム同士の試合で勝った方を優位とする
- ③ ②で決定できない時(対戦が引き分けだった場合)は、次の優位性で判断する。
 - ア) 総失点の小さい方が優位。
 - イ) 得失点差の大きい方が優位。
 - ウ) 失点の少ない方が優位。

【確認】

- *1 1日目は試合毎のベンチの入れ替えは行わない。(試合をスムーズに進めるため)
 - ③と⑥のチームは、常に1塁側。
 - ②と⑤のチームは、常に3塁側。
 - ①と④のチームは、試合に合わせてベンチを使う。。
- *2 2日目は、組み合わせの左側のチームが1塁側となる。
- *3 外野ネットは設置しない。ホームランラインで対応する。ゴロ等でラインを超えた場合は2ベースとする。(検討)
- *4 試合球は専門部で準備する。ナイガイ。
- *5 ロジンバッグは各チームで準備する。本部からは支給しない。
- *6 会場内での練習については、以下のように行う。
 - 1) 2日間とも、第1試合の4チームは試合会場の外野側で行うことができる
 - 2) 第2試合の2チームと試合間の練習については、当日会場で確認する。
- *7 生徒役員は、各チームの選手数を考慮し、無理をせずチーム事情で行えない場合もある。その場合は、試合を行っているチームの選手が行う(ボール回収のみの場合もある。)

Ⅶ. 競技規則及び申し合わせ事項

＜参加規定＞

- (1) 中学校の部活動のチームは、選手は当該校の在籍生徒とする。合同チームについては、条件を満たしている場合において規定の手続きを経た上で出場を認める。クラブチームの場合は、条件を満たした上で参加を認める。
- (2) 1チームの編成は、引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名以内の計21名以内とする。
- (3) 監督・コーチの何れかは、引率責任者を兼ねてもよい。
- (4) チーム登録は次の点に留意する。

- ① 引率者・監督は当該校の校長・教員・部活動指導員※1とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、「参加申込書」の監督者及び引率者の欄に指示されている印を付け、必要事項を記入する。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。

※1 ここでいう「部活動指導員」は学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。以下同じ。

- ② 本連盟が主催する大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。(左記については別に定める対応に準拠する)

- ③入場券は当該校の生徒であること。
- ④コーチは学校長の認めた者であれば外部コーチも認める。その際には所定の用紙を使用し、届け出をする。なお、外部コーチについては上記②に適する者とする。更に下記の条件をみたしている必要がある。
- i) 当該チームの監督の補佐として指導を中心とし大会運営には関与しない。
 - ii) 学校教育の一環として行われる大会の趣旨を十分に理解し、教育的な言動や行動をとる。
 - iii) 大会運営上問題が生じた場合や条件を逸脱する言動があった場合は、大会本部の指示に従う。

<競技規定>

- (1) 2023年度バドミントン・ソフトボール・ルールに準じる。
- (2) 使用球はゴム検定3号、使用バットは検定3号バットとする。
- (3) 監督及びコーチは、選手と同じユニフォームを着用する。引率責任者は平服でもよい。
- (4) ユニフォームにはユニフォームNo.をつける。監督は30番、コーチは31番、選手は1番～99番とし、主将は10番とする。なお、チーム事情により、選手・監督及びコーチのユニフォームがそろわない場合は、ユニフォームNo.を正しく着用すれば大会への出場及びバット入りを認める。
- (5) 試合は次のように進める。
 - ① 1日目：7インングまたは80分とし、タイブレークは行わない。
 - ② 2日目は、時間制なし、7インングの試合とする。8回以降はタイブレークにより、勝敗が決するまで試合を継続する。ただし、天候やグラウンド状況等により、協議の上、80分の時間制を採用することもある。
 - ③ 2日間ともコートゲームはバドミントンルールを適用する。
- (6) 規則適用上の疑義の申し出は、監督とする。ただし、審判の正確性に関する抗議はできない。
- (7) 打順表(オーダー用紙)はバドミントンの打順表を使用する。バット入り登録選手の全員の記入等、必要事項を全て記入する。

<大会規約>

- (1) 雨の場合には順延する。
- (2) バット入りは、監督1名、部長1名、コーチ1名、選手18名以内の計21名(入場券を含む)とする。入場券も選手と同じユニフォームを着用する。
- (3) バットの使い分けは、別記あり。(1日目は入れ替えをしない)
- (4) 日没又は降雨によるコートゲームは5回以後成立するものとする。
- (5) 一時停止試合(サスペンデッドゲーム)を採用する。
- (6) 試合前のフィールドイングは、登録メンバー(18名以内)で行う。
- (7) 攻守交替は、投手を含む全員がピッチャーで行う。
- (8) バットや応援席からの審判や相手チームに対する聞き苦しい暴言やヤジは厳重に慎む。試合に影響のある応援や指示と判断される場合は競技部が指導を行う場合もある。

<表彰>

- (1) 表彰は上位3チームを対象とし、賞状を授与する。優勝チームには優勝盾を授与する。

<その他>

- ① 雨天時の対応について
 - ・ 前日夕方、又は当日朝5時に専門委員長より出場校に連絡する。
 - ・ 大会は予備日の9月30日(土)10月1日(日)に行う。予備日が両日とも雨天等で実施不可の場合は北信中体連本部と専門部が協議の上、日時を決定し実施する。

②申し込みについて

- ・ 所定の参加申込書にて、次のように行う。外部コーチを登録する場合は、所定の用紙を提出する。

提出先 専門委員長 黒田 芳人(篠ノ井西中学校)
*提出期限 9月19日(火)

- ③申し込み後の選手の変更、追加及び背番号の変更は、基本的に認めない。
④選手宣誓：本年度はなし
⑤各チームの部員は、生徒役員として試合の補助をする。
⑥試合を行わないチームの顧問は塁審を行うこともある。
⑦フラット、部旗 又は 校旗、及び旗棹の準備は、開閉会式を行わないため、各チームの判断で良い。
⑧登録選手は、全員参加料を納める。参加料は1人200円とし、当日集金とする。フラット代はなしとする。
⑨問い合わせ
裾花中学校 黒田 芳人(北信中体連ソフトボール競技専門委員長)
＜連絡先＞上記②参照

＜応援等に関する注意事項＞

学校教育活動の一環である、「中学生の大会」であることを前提に、生徒を含め、応援者 及び 観戦者の方々には、以下のことについて、ご理解とご協力をお願いいたします。

- (1)ベンチや応援席からの審判や相手チームに対する暴言やヤジは厳重に慎む。
試合進行に影響のある応援や、不必要な指示と大会本部が判断した場合は、改善指導を行う場合がある。マナー面においても同様の対応をする。

(2)ベンチと応援席の区別について

本大会の競技場は、ベンチと応援席が曖昧になるため、以下のとおり対応する。

- ①応援席は1塁・3塁の各ベースより外野側とする。
②ベンチの後ろ及びベンチからバックネット側の位置に応援者が入り込まないものとする。(準備、片付けも含む。)
③試合中の撮影については、バックネット裏からの撮影(画像・動画等)は禁止する。また、撮影された個人を特定できる画像や動画を許可なくインターネット上に投稿することは法律で禁止されているので行わない。

(3)鳴り物を使用した応援は禁止とする。

(4)その他、中体連本部からの連絡事項を遵守する。

上記(1)～(4)を守れない場合は、観戦席での観戦・応援をご遠慮して頂くこともある。

